農地等の利用状況報告書

記入例

**※法第３条第３項の規定により同条第１項の許可を受けた者は、許可書に付された条件により毎事業年度終了後３か月以内に農地等の利用状況報告書を提出しなければなりません。**

令和**○○**年**○○**月**○○**日

木曽岬町農業委員会会長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　**○○市○○町○○番地**

**○○株式会社**

氏名　**代表取締役　○○　○○**

令和**○○**年**○○**月**○○**日付け木曽岬町農指令第**○○○**号で農地法第３条第１項の許可を受けた農地（採草放牧地）について、農地法第６条の２第１項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１　農地法第３条第３項の規定により同条第１項の許可を受けた者の氏名等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 住所 |
| **○○株式会社　代表取締役○○　○○** | **○○市○○町○○番地** |

２　報告に係る土地の所在等

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 所在・地番 | 地　　目 | | 面積  (㎡) | 作物の種類別作付面積(又は栽培面積) | 生産数量 | 反　収 | 備考 |
| 登記簿 | 現況 |
| **木曽岬町大字□□□番地** | **畑** | **畑** | **15,000** | **キャベツ** | **40,000㎏** | **2,667kg** |  |

３　農地法第３条第３項の規定により同条第１項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響

**周辺農地と同等の営農を行っており特に影響はありません。**

４　地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

**４月の水路清掃の出会いに２名、７月の草刈りに３名が参加したほか、１１月の地区の行事の設営に３名が出席、農業関係者の集会に４回出席しました。**

５　業務執行役員又は重要な使用人の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 常時従事者の役職名 | 耕作又は養畜の事業  の年間従事日数 |  |
| **□□　□□** | **取締役** | **２４０日** |

６　その他参考となるべき事項

（記載要領）

1.　不要の文字は抹消してください。

2.　報告書を提出する者が法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄附行為の写しを添付してください。

3.　記の２の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。

4.　記の３の「農地法第３条第３項の規定により同条第１項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。

5.　記の４の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取り決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。

6.　記の５の「業務執行役員又は重要な使用人の状況」については、報告書を提出する者が個人である場合は記載不要です。「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がいない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。

　　なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。

7.　過去に三重県知事から受けた許可に付されている条件では、農業委員会を経由して三重県知事に報告することとなっていますが、これにかかわらず平成２４年４月１日以降に提出する報告については、全て農業委員会あてに提出します。